

1-19 牛ふん堆肥を使用した特別栽培米のブランド化と、堆肥センターを核とした耕畜連携 (株式会社有機センター白山)

○ 株式会社有機センター白山は、白山市内の畜産農家からの牛ふんを原料に完熟堆肥を製造し、米生産農家に供給。また、稲WCSの収穫等を行い、耕畜連携を推進。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称

- 牛ふん
- もみ殻 (副資材)

- 種類：特殊肥料 (牛ふん堆肥)
- 肥料名：ソイルパワー



■作物 ■主成分の含有量 (%)、特徴等

- 水稻
- イネWCS等

N	P	K	C/N比	有機物
1.75	0.37	1.67	16.8	34.45

・耕種農家 (稲作) が求める牛糞完熟堆肥を白山市内の耕種農家へ供給。

■取組の経緯・内容・成果 (見込み)

取組の経緯

- 昭和57年に、旧松任市内の酪農家の家畜排せつ物と、稲作農家からの稲ワラ等の資源を循環させるため、松任市農業有機物供給センター (堆肥製造施設) を開設。現在の運営主体は、(株) 有機センター白山。

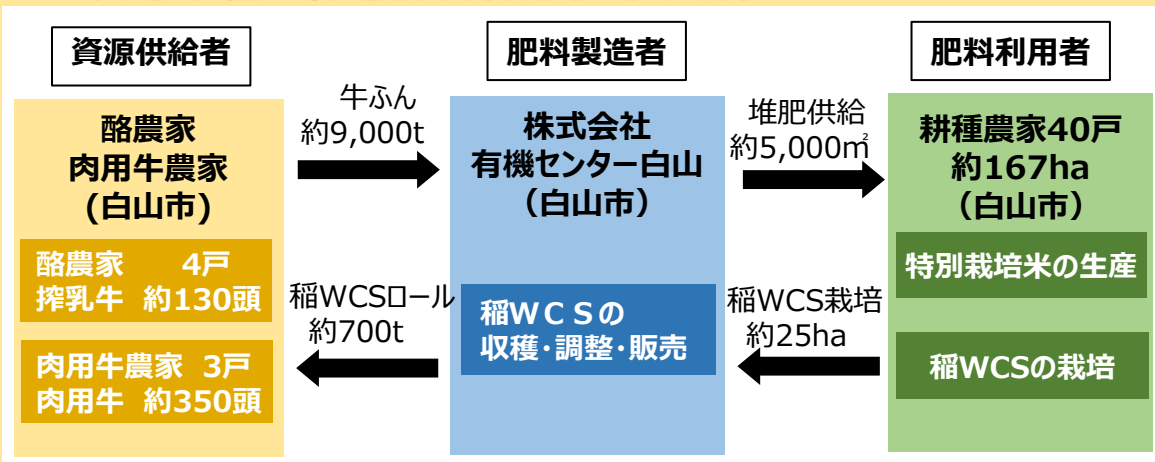
取組の内容

- 家畜排せつ物の水分調整にもみ殻を利用することで、収集・運搬・堆肥製造時の作業性や堆肥発酵品質が向上。
- 堆肥を供給するだけでなく、畜産農家に対し水田を活用して生産した飼料を供給するため、平成25年に稲WCSの収穫・調整機を導入し、耕畜連携を推進。

成果

- センター設立当初から、「ソイルパワー」を使用した「白山市産コシヒカリ」が注目を集め、大手商社からの購入要望があるなど、先行的な取組であった。
- 現在も「ソイルパワー」を使用した特別栽培米コシヒカリのブランド化に貢献。
- 畜産農家にイネWCSを安定供給する役割も担い、耕畜連携の核となっている。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- 水田等の耕作地と住宅地が接しているため、臭いの少ない良質堆肥製造を心掛け。



堆肥散布



イネWCS専用 収穫・調整機



イネWCSの配達も実施